

調査結果の概要

荒尾市地域公共交通活性化協議会

平成29年10月13日

目次

1. 計画策定に当たり実施した調査

○調査実施状況 ……2ページ

2. 高齢者の移動実態

○主要な外出目的と行き先 ……3ページ

○外出頻度 ……4ページ

○移動手段 ……6ページ

○自動車運転免許非保有者の移動手段 ……7ページ

○家族構成と自動車運転免許保有状況 ……8ページ

○年代別の自動車運転免許保有率と自主返納意向 ……9ページ

3. 勤労世代(19歳以上65歳未満)の移動実態

○主要な外出目的と行き先 ……15ページ

○移動手段 ……16ページ

4. 高校生の移動実態

○市内居住者の通学先と

市内の高校に通学する学生の居住地 ……22ページ

○市内居住者の通学時の移動手段 ……23ページ

○市外から岱志高校・有明高校への通学時の移動手段 ……24ページ

○市内居住者の休日の外出目的地・移動手段 ……25ページ

5. 市内居住者の公共交通に対するニーズ

○公共交通に対する不満点 ……29ページ

6. 路線バス利用実態調査結果

○路線別利用者数 ……30ページ

○利用者の年齢・運賃支払い方法 ……31ページ

○路線別利用頻度・時間帯別利用動向 ……32ページ

1. 計画策定に当たり実施した調査

調査実施状況

- 公共交通に対する潜在的なニーズや、利用促進のための改善点などを把握するため、移動実態や公共交通の利用実態に関する以下の調査を実施している(実施中・実施予定のものも含む)。

分類	調査項目	調査実施概要	実施状況
市民移動実態調査	市民アンケート調査 (65歳以上)	市内に居住する65歳以上の方を対象に移動実態を調査 1,500名を無作為抽出し、郵送配布・回収	7月14日～27日に実施 回収率:56%
	【追加】 市民アンケート調査 (19歳以上65歳未満)	市内に居住する19歳以上65歳未満の方を対象に移動実態を調査 500名を無作為抽出し、郵送配布・回収	8月25日～9月7日に実施 回収率:37%
	高校生アンケート調査	市内及び玉名市内の全高校・全生徒を対象に移動実態を調査 学校を通じ、直接配布・回収	9月上旬に実施、全校から回収済 ・荒尾支援学校には別途実施予定 ・大牟田市内の高校に対しては大牟田市にて調査を実施し、調査結果を共有予定
	民生委員アンケート調査	市内各地区の交通弱者の状況、移動に関する課題を調査 民生委員に対し、直接配布・郵送回収	9月15日から地区別に順次実施中
公共交通実態調査	路線バス利用実態調査	産交バスの運行する全路線全便に乗り込み、利用実態を調査	7月9日～11日に実施 平日:1,101人/日、休日:352人/日
	バス停待合環境調査	市内のバス停の待合環境(上屋の設置状況・老朽化状況など)を調査	9月20日～22日に実施
【追加】	観光来訪実態調査	市内に観光目的で来訪した方の移動実態や移動ニーズを調査	10月上旬に実施予定

2. 高齢者の移動実態（1）

主要な外出目的と行き先

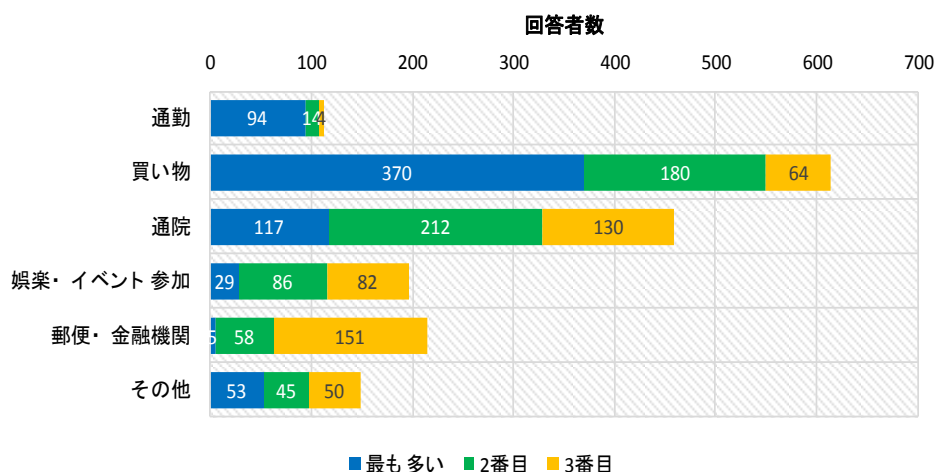
【主要な外出目的】

- 外出目的として最も多いのは「買い物」で、回答者の半数が「最も多い」としている。また、3番目に多い外出目的まで含めると、65歳以上の高齢者の外出行動は「買い物」と「通院」が主な目的となっている。

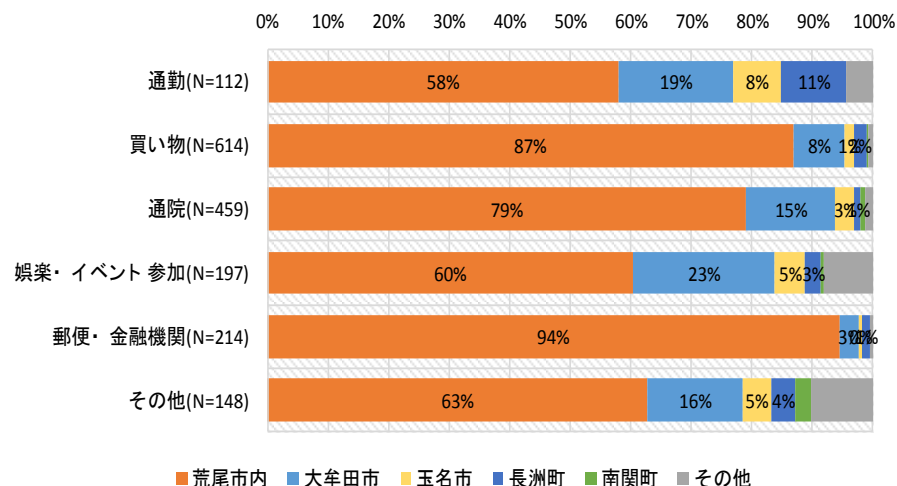
【外出目的別の行き先】

- 「買い物」、「通院」、「郵便・金融機関」の移動においては8～9割が市内での移動となっている一方、「通勤」、「娯楽・イベント参加」、「その他」の移動においては回答者の4割が市外に移動しており、日常生活に関連が深い移動は市内で完結する人が多くなっていることが分かる。
- 市外への移動は、大牟田市を目的地とする方が多く、「通勤」、「娯楽・イベント参加」の移動においては回答者の約2割が大牟田市に移動している。

■ 外出目的



■ 目的地（外出目的別）



2. 高齢者の移動実態（2）

外出頻度①

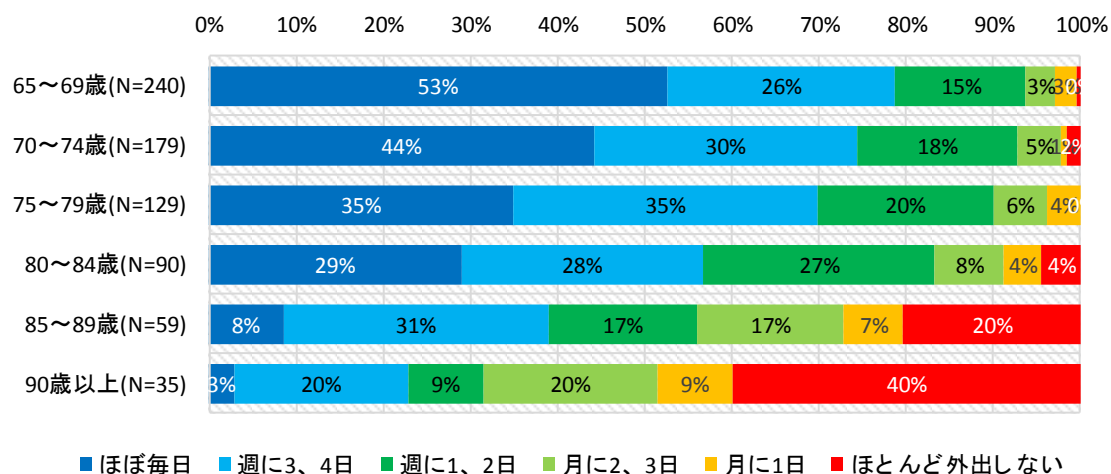
【年齢別の外出頻度】

- 79歳以下では週に3～4日以上外出する方が7割以上を占めるが、加齢とともに外出頻度は低下し、85～89歳では2割、90歳以上では4割の方が「ほとんど外出しない」方となっている。

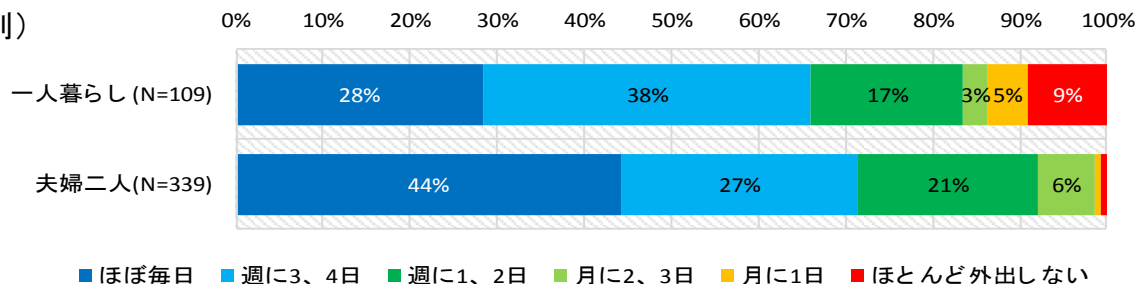
【家族構成別の外出頻度】

- 夫婦二人暮らしの方よりも、一人暮らしの方の方が外出頻度が低くなっており、一人暮らしの高齢者は移動が自由に行えていない可能性が懸念される。

■ 外出頻度(年齢別)



■ 外出頻度(家族構成別)



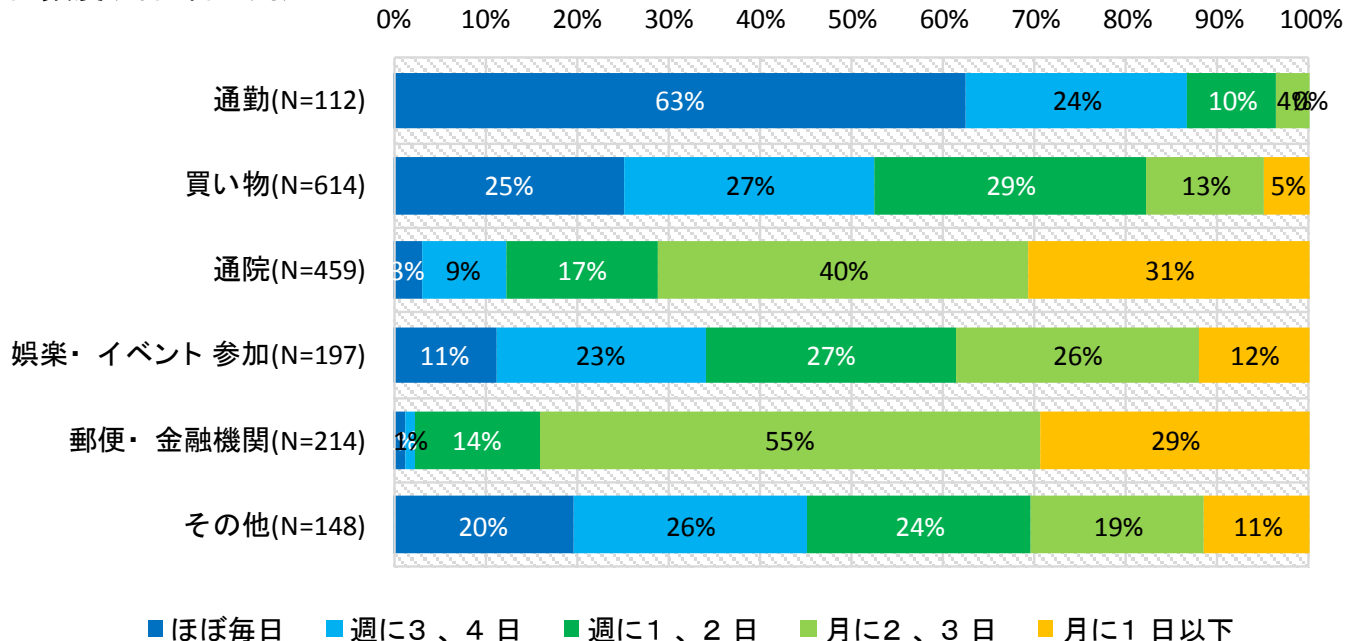
2. 高齢者の移動実態（3）

外出頻度②

【外出目的別の外出頻度】

- 「買い物」においては半数以上の方が週に3～4日以上と高頻度で外出している一方、「通院」においては、比較的外出頻度が低く、月に1～3日程度の外出が7割を占めている。
- 「通院」と比較すると、「娯楽・イベント参加」での外出の方が外出頻度が高い。

■ 外出頻度(外出目的別)



高齢者の移動においては、外出目的及び外出頻度がともに高い「買い物」を中心に、外出目的は高いが外出頻度は低い「通院」や、外出目的はそう高くないが外出頻度は高い「娯楽・イベント参加」に関して、公共交通に対する潜在的なニーズがあると考えられる。

2. 高齢者の移動実態（4）

移動手段

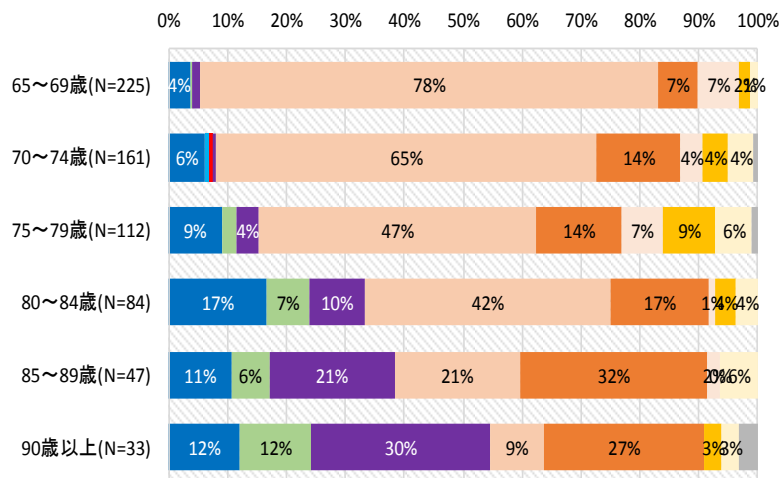
【年齢別の移動手段】

- 年齢が高くなるほど「自家用車利用（自身で運転）」は減少し、「家族の送迎」や「病院・福祉送迎」、「タクシー」の利用により移動する方が増加する。
- 「路線バス」の利用は80～84歳の利用率が最も高いが、85歳以上になると、「路線バス」の利用は減り、「自家用車（家族・知人の送迎）」や「病院・福祉送迎」など、あまり歩く必要がない移動手段を選択する傾向がある。

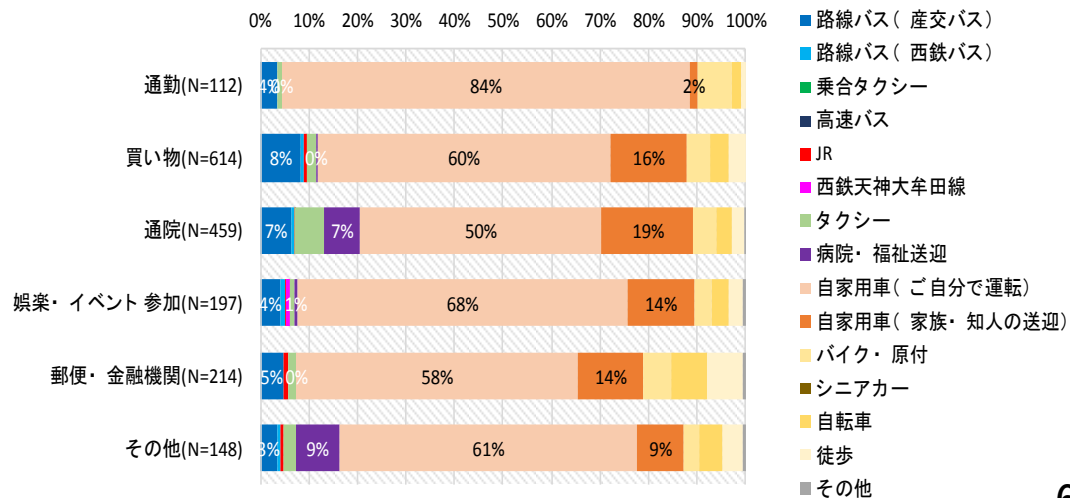
【移動目的別の移動手段】

- 移動目的別には特に大きな傾向は見られず、いずれの目的においても自家用車を自身で運転する方が半数以上を占めている。特に通勤時は自家用車利用の割合が高く、8割以上の方が自家用車を自身で運転して通勤している。
- 自家用車を自身で運転する方の割合が比較的低いのは通院時であり、「路線バス」のほか、「タクシー」や「病院送迎」、「自家用車での送迎」が他と比較して増加している。

■ 移動手段（年齢別）



■ 移動手段（移動目的別）



2. 高齢者の移動実態（5）

自動車運転免許非保有者の移動手段

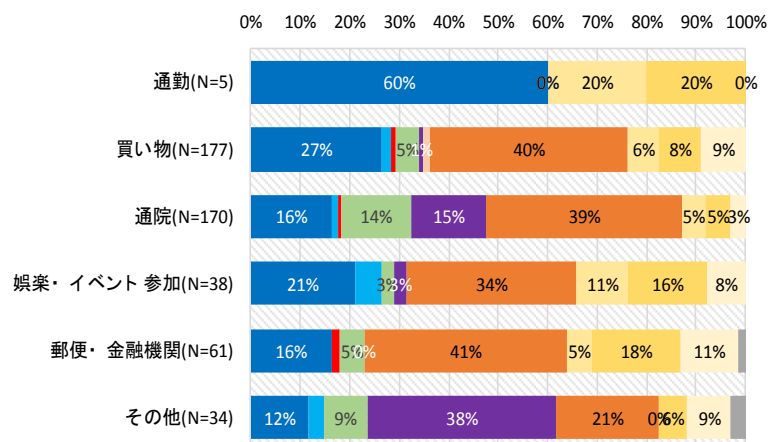
【移動目的別の移動手段】

- 自家用車運転免許非保有者のうち、「通勤」のために移動する方は極端に少なかった(5人)ため、就業している高齢者はほとんどが自動車運転免許を保有していることが分かる。
- 「通勤」以外の移動目的では、自家用車による送迎で移動する方が多く、「通院」や「その他」の移動目的では病院・福祉送迎の利用も見られる。一方で、「買い物」や「娯楽・イベント参加」などの活動的な移動目的では「産交バス」の利用が2割以上となっており、活発な移動を行う高齢者には比較的利用されていると言える。

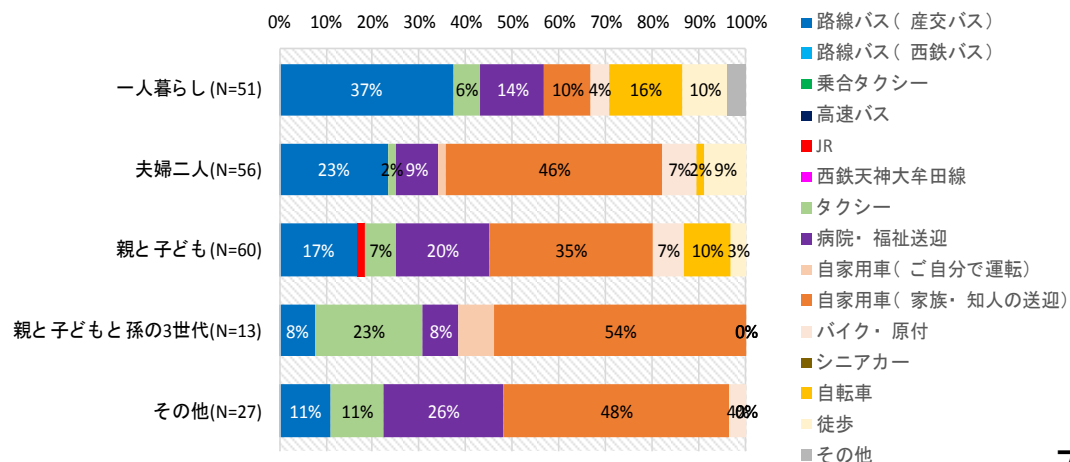
【家族構成別の移動手段】

- 一人暮らしの世帯では、自家用車による送迎が少なく、「路線バス」への依存度が高くなっている一方、夫婦二人や2世代以上で同居する家庭では、家族・知人の送迎が多く、「路線バス」での移動は少なくなっている。
- 一人暮らしの方にとっては、「路線バス」の利便性が移動の制約に直結する可能性が高い一方で、夫婦二人暮らしの世帯にとっても、どちらかが自家用車を運転できなくなった場合など、今後「路線バス」への依存度が急激に高まる可能性がある。

■ 移動手段(移動目的別)



■ 移動手段(家族構成別)

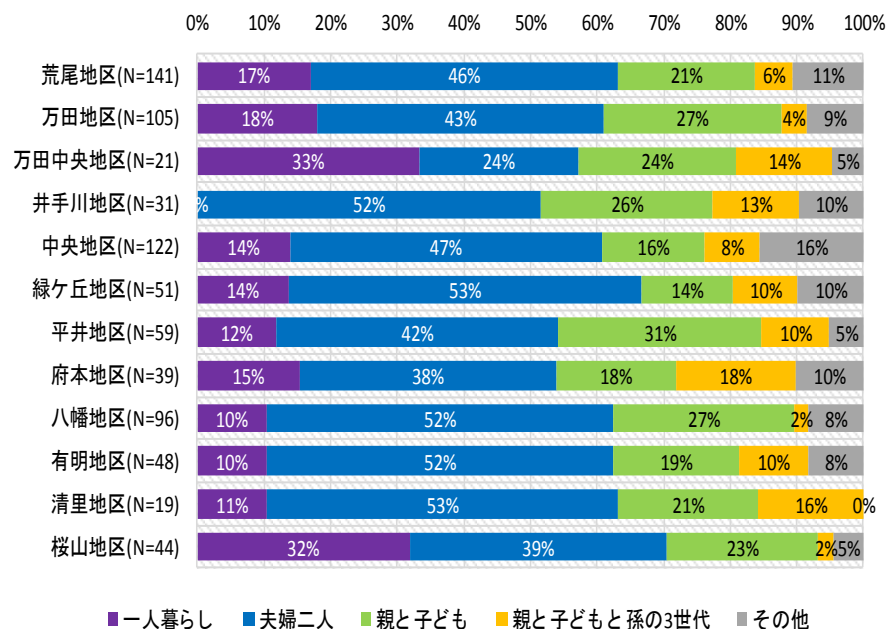


2. 高齢者の移動実態（6）

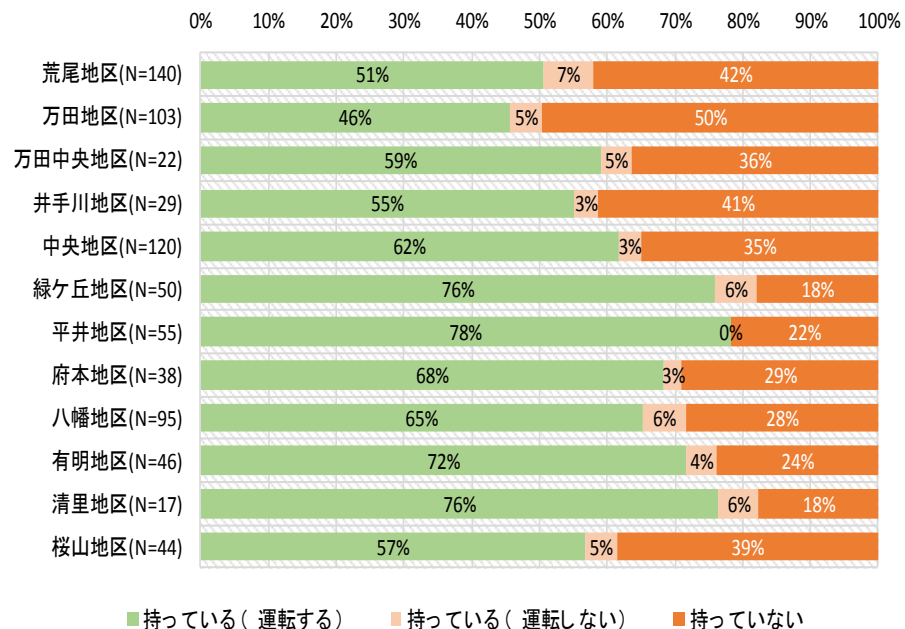
家族構成と自動車運転免許保有状況

- 一人暮らし世帯が多いのは「万田中央地区」や「桜山地区」で、3人に1人が一人暮らし高齢者となっている。
- 運転免許非保有者や、保有者でも日常的に運転しない方の割合が高いのは「荒尾地区」、「万田地区」、「井手川地区」、「桜山地区」で、5割前後に達している。一方、「緑ヶ丘地区」、「平井地区」、「清里地区」では、他地区と比較して運転免許保有者（自身で運転する方）の割合が高い。
- 一人暮らし高齢者の割合、運転免許非保有者の割合がともに高い「桜山地区」では、移動が困難に感じている方が特に多くなっていることが懸念される。

■ 家族構成（地区別）



■ 自動車運転免許の保有状況（地区別）



2. 高齢者の移動実態（7）

年代別の自動車運転免許保有率と自主返納意向

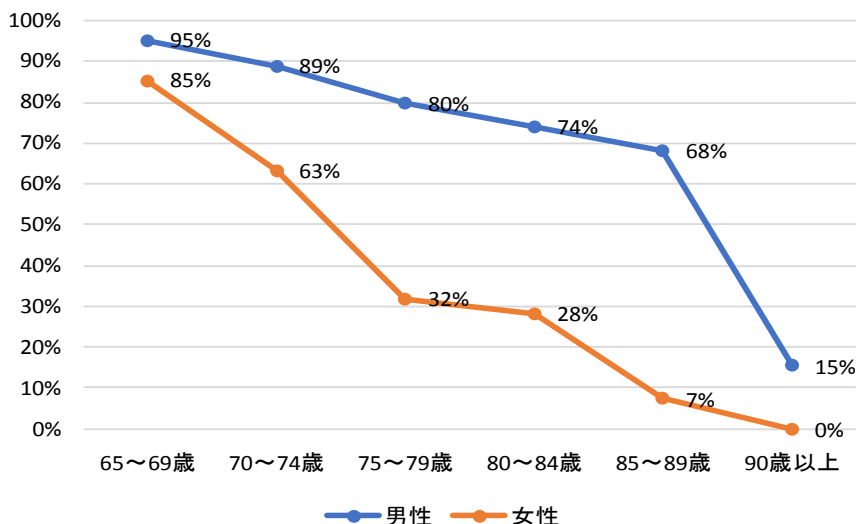
【年代別の自動車運転免許保有状況】

- 男性よりも女性の方が運転免許保有率が低く、男性では85～89歳でも約7割が運転免許を保有している一方、女性では、75歳以上になると運転免許保有者は3人に1人以下となっており、夫婦での自家用車による移動においては、主に夫が運転を行っている状況が推測できる。

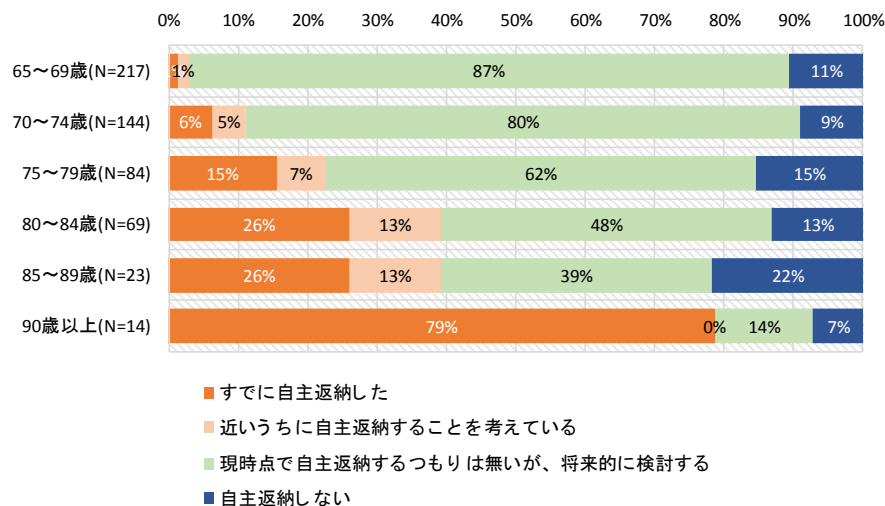
【自動車運転免許自主返納意向の状況】

- 概ね年齢が高くなるほど返納率が高くなっており、80歳代では4人に1人の割合で自主返納している。90歳以上を除く各年代で「自主返納しない」との回答も1～2割程度存在するが、運転免許を保有する多数の方が自主返納を検討する意向を示しており、公共交通に対する潜在的なニーズは高いと考えられる。

■ 自動車運転免許保有率



■ 自動車運転免許の自主返納意向



公共交通の利用者増加を図るためには、今後5年間で運転免許の自主返納が進むことが見込まれる「70歳代前半の女性」を中心に利用促進を行うことが有効と考えられ、女性が一人でも自動車に頼らず自由に移動できるような環境を整備することが重要と考えられる。

2. 高齢者の移動実態（まとめ）

調査項目	調査結果より把握されたこと	課題
市民 アンケート調査 (65歳以上)	<ul style="list-style-type: none">● 買い物のほか、娯楽・イベント参加での外出頻度が高く、活動的な高齢者が多くなっており、通勤や娯楽・イベント参加では大牟田市をはじめ市外への移動もある。● 加齢とともに外出頻度が低下する傾向にあり、万田中央地区や桜山地区などで多くなっている高齢者の単身世帯を中心に、移動が困難となる方が増えることが懸念される。● 自動車運転免許非保有者の移動手段としては、家族・知人の送迎が多くなっているが、買い物や娯楽・イベント参加などの活動的な移動目的では路線バスの利用も多くなっている。また、単身世帯については路線バスの利用が多く、重要な移動手段となっている。● 自動車運転免許保有率は、女性では75歳以上になると3人に1人以下になっており、公共交通に対するニーズは高いと考えられる。	<p>【高齢者単身世帯の増加】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 高齢者単身世帯の割合が高くなっている地区をはじめ、高齢者が一人でも自由に外出ができるよう、移動手段の確保がより重要になる。 <p>【高齢者の活発な移動】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 買い物や通院だけでなく、趣味やサークル活動への参加など多様な外出行動を支援するための移動手段を確保することで、高齢者の健康増進に向けた活動を推進することが重要になる。

【参考】市民アンケート(65歳以上)調査票①

I あなたご自身のことについて

質問1 お住まいはどちらですか？(地区名に○)

- ① 荒尾地区 ② 万田地区 ③ 万田中央地区 ④ 井手川地区
 ⑤ 中央地区 ⑥ 緑ヶ丘地区 ⑦ 平井地区 ⑧ 府本地区
 ⑨ 八幡地区 ⑩ 有明地区 ⑪ 清里地区 ⑫ 桜山地区

質問2 ご自身のことについてお尋ねします。

i) 性別

- ① 男性 ② 女性

ii) 年齢

- ① 65～69 歳 ② 70～74 歳
 ③ 75～79 歳 ④ 80～84 歳
 ⑤ 85～89 歳 ⑥ 90 歳以上

iii) 家族構成

- ① 一人暮らし ② 夫婦二人
 ③ 親と子ども ④ 親と子どもと孫の3世代
 ⑤ その他 ()

iv) 自動車運転免許の有無

- ① 持っている →
 ② 持っていない

日常的に運転しますか？

- ① 運転する
 ② 運転しない

v) 運転免許証の自主返納状況

- ① すでに自主返納した
 ② 近いうちに自主返納することを考えている
 ③ 現時点で自主返納するつもりは無いが、将来的に検討する
 ④ 自主返納しない
 ⑤ 自動車の運転免許証を保有したことが無い

II あなたの外出行動について

質問3 ご自宅から最寄りのバス停の名称と、ご自宅からの所要時間についてお答えください。(該当するものそれぞれ1つに○)

i) 乗り場の名称	ii) 自宅からの所要時間
① () バス停	① 5分以内
	② 5～10分
② 乗合タクシーの運行区域内(平井・府本地区)	③ 10分以上
③ バス停がどこにあるか知らない	

質問4-1 どのくらいの頻度で(買い物や通院等に)外出しますか？

(該当するもの1つに○)

- ① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日
 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日 ⑥ ほとんど外出しない

質問4-2 【平井地区・府本地区にお住まいの方のみお答えください】

乗合タクシー導入前(平成25年10月以前)と比べて、外出行動はどう変わりましたか？

	乗合タクシー導入前	乗合タクシー導入後
i) 市の中心部などに外出する時に利用する交通手段(該当するもの全てに○)	① 路線バス ② タクシー ③ 自家用車 ④ 病院送迎バス ⑤ 自転車・徒歩 ⑥ その他 ()	① 乗合タクシー ② タクシー ③ 自家用車 ④ 病院送迎バス ⑤ 自転車・徒歩 ⑥ その他 ()
ii) 外出頻度(1つに○)	① 増えた ② 変わらない ③ 減少した	

【参考】市民アンケート(65歳以上)調査票②

質問5 日常的な外出の目的と、その目的地などについて教えてください。

	外出目的	目的地	外出する頻度
	【回答の流れ】この質問は、日常的な外出行動3つについて「外出目的」「目的地」「頻度」「外出・帰宅時刻」「移動手段」のそれぞれご回答ください（〇は1つずつ）		
最も多い外出目的 →	①通勤 ②買い物 ③通院 ④娯楽・イベント参加 ⑤郵便・金融機関 ⑥その他 ()	①荒尾市内 ②大牟田市 ③玉名市 ④長洲町 ⑤南関町 ⑥その他 () 施設の名称	① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日以下
二番目に多い外出目的 →	①通勤 ②買い物 ③通院 ④娯楽・イベント参加 ⑤郵便・金融機関 ⑥その他 ()	①荒尾市内 ②大牟田市 ③玉名市 ④長洲町 ⑤南関町 ⑥その他 () 施設の名称	① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日以下
三番目に多い外出目的 →	①通勤 ②買い物 ③通院 ④娯楽・イベント参加 ⑤郵便・金融機関 ⑥その他 ()	①荒尾市内 ②大牟田市 ③玉名市 ④長洲町 ⑤南関町 ⑥その他 () 施設の名称	① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日以下

3

回答は、外出目的が多い方から3つ、矢印の方向にお願いします。

	外出・帰宅する時刻	主な移動手段
	【回答の流れ】この質問は、日常的な外出行動3つについて「外出目的」「目的地」「頻度」「外出・帰宅時刻」「移動手段」のそれぞれご回答ください（〇は1つずつ）	
最も多い外出目的【つぎ】	外出時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ外出 ↓ 帰宅時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ帰宅	①路線バス（産交バス） ⑨ 自家用車（ご自分で運転） ②路線バス（西鉄バス） ⑩ 自家用車（家族・知人の送迎） ③乗合タクシー ⑪ バイク・原付 ④高速バス ⑫ シニアカー ⑤JR ⑬ 自転車 ⑥西鉄天神大牟田線 ⑭ 徒歩 ⑦タクシー ⑮ その他 ⑧病院・福祉送迎
二番目に多い外出目的【つぎ】	外出時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ外出 ↓ 帰宅時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ帰宅	①路線バス（産交バス） ⑨ 自家用車（ご自分で運転） ②路線バス（西鉄バス） ⑩ 自家用車（家族・知人の送迎） ③乗合タクシー ⑪ バイク・原付 ④高速バス ⑫ シニアカー ⑤JR ⑬ 自転車 ⑥西鉄天神大牟田線 ⑭ 徒歩 ⑦タクシー ⑮ その他 ⑧病院・福祉送迎
三番目に多い外出目的【つぎ】	外出時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ外出 ↓ 帰宅時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ帰宅	①路線バス（産交バス） ⑨ 自家用車（ご自分で運転） ②路線バス（西鉄バス） ⑩ 自家用車（家族・知人の送迎） ③乗合タクシー ⑪ バイク・原付 ④高速バス ⑫ シニアカー ⑤JR ⑬ 自転車 ⑥西鉄天神大牟田線 ⑭ 徒歩 ⑦タクシー ⑮ その他 ⑧病院・福祉送迎

4

【参考】市民アンケート(65歳以上)調査票③

Ⅲ 公共交通に対するご要望について

質問7 あなたは日常生活においてどの程度路線バスや乗合タクシーを利用しますか？（該当するもの1つに○）

- | | |
|---------|-------------------|
| ① ほぼ毎日 | ② 週3、4日 |
| ③ 週1、2日 | ④ 月に2、3日 |
| ⑤ 月に1日 | ⑥ ほとんど利用しない・利用しない |

路線バス・乗合タクシーを利用する方は質問8・9にお答えください

質問8 路線バスや乗合タクシーを利用する時、よく使うバス停をお答えください。（いくつでも）※自宅から最寄りのバス停以外でお答えください

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| ① あらおシティモール | ② 荒尾市民病院 |
| ③ 荒尾駅前 | ④ イオンタウン |
| ⑤ 荒尾市役所前 | ⑥ その他 ※以下に記入してください
() () |

質問9 路線バスや乗合タクシーについてご不満な点がありますか？（該当するもの3つに○）

使い方がわかりにくい	①行先や方面がわからない ②発着時刻がわからない ③乗り方がわからない
路線が移動に合っていない	④行きたい方向に路線がない ⑤バス停(乗り場)が遠い ⑥移動に時間がかかる
運行ダイヤが移動に合っていない	⑦平日しか運行されていない ⑧運行本数が少ない ⑨乗り継ぎが不便 ⑩乗りたい時間に運行されていない
その他の理由	⑪乗り降りしにくい ⑫運賃が高い ⑬時間通りにこない ⑭現金での支払いが不便 ⑮乗り場に屋根やベンチがない⑯乗り継ぎが面倒である ⑰その他【 】

⇒質問11に進んでください

路線バス・乗合タクシーを利用しない方は質問10にお答えください。

質問10 路線バス・乗合タクシーを利用しない理由を教えてください。（該当するもの3つに○）

使わない・不要	①自家用車を運転して移動できる ②宅配があり外出が不要 ③送迎してもらっている ④ほとんど外出しない
使い方が分からない	⑤行先や方面がわからない ⑥発着時刻がわからない ⑦乗り方がわからない
路線が移動に合っていない	⑧行きたい方向に路線がない ⑨バス停(乗り場)が遠い ⑩移動に時間がかかる
運行ダイヤが移動に合っていない	⑪平日しか運行されていない ⑫運行本数が少ない ⑬乗り継ぎが不便 ⑭乗りたい時間に運行されていない
その他の理由	⑮乗り降りしにくい ⑯運賃が高い ⑰時間通りにこない ⑱現金での支払いが不便 ⑲乗り場に屋根やベンチがない⑳乗り継ぎが面倒である ㉑その他【 】

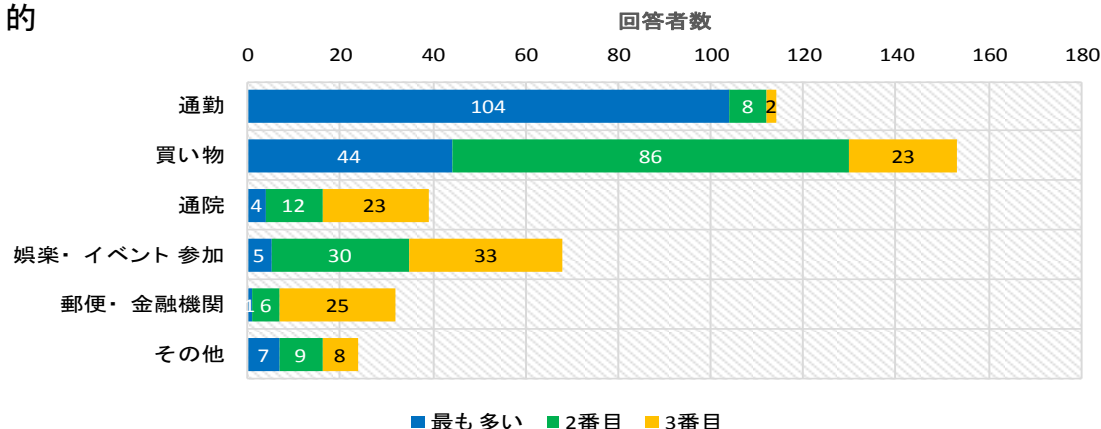
⇒質問11に進んでください

3. 勤労世代（19歳以上65歳未満）の移動実態（1）

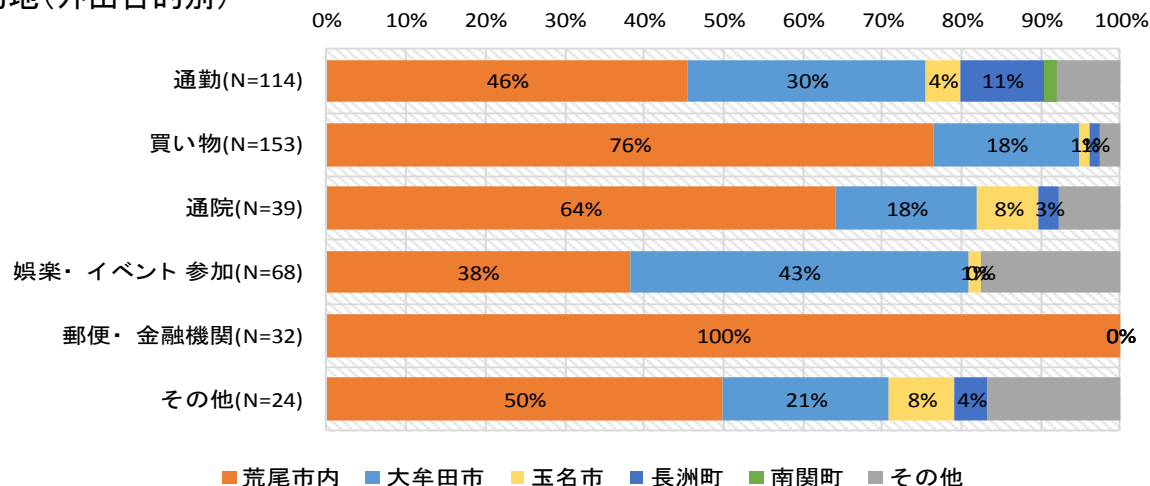
主要な外出目的と行き先

- 外出目的で多いのは、「通勤」と「買い物」となっており、「買い物」は市内で行う方が約8割である一方、「通勤」や「娯楽・イベント参加」では大牟田市を目的地とする方が3～4割に達する。

■ 外出目的



■ 目的地(外出目的別)

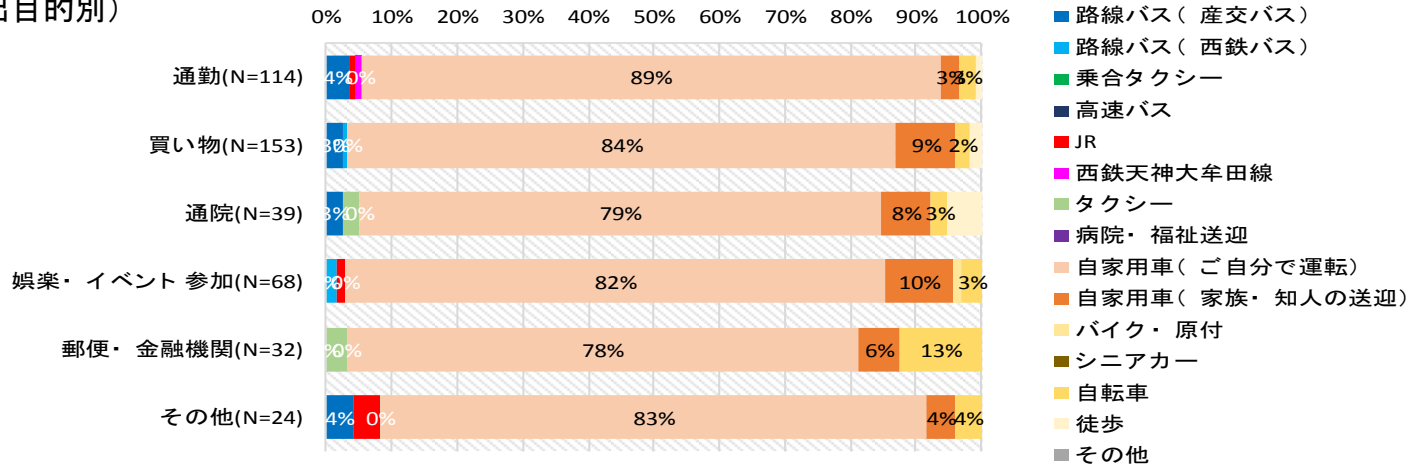


3. 勤労世代（19歳以上65歳未満）の移動実態（2）

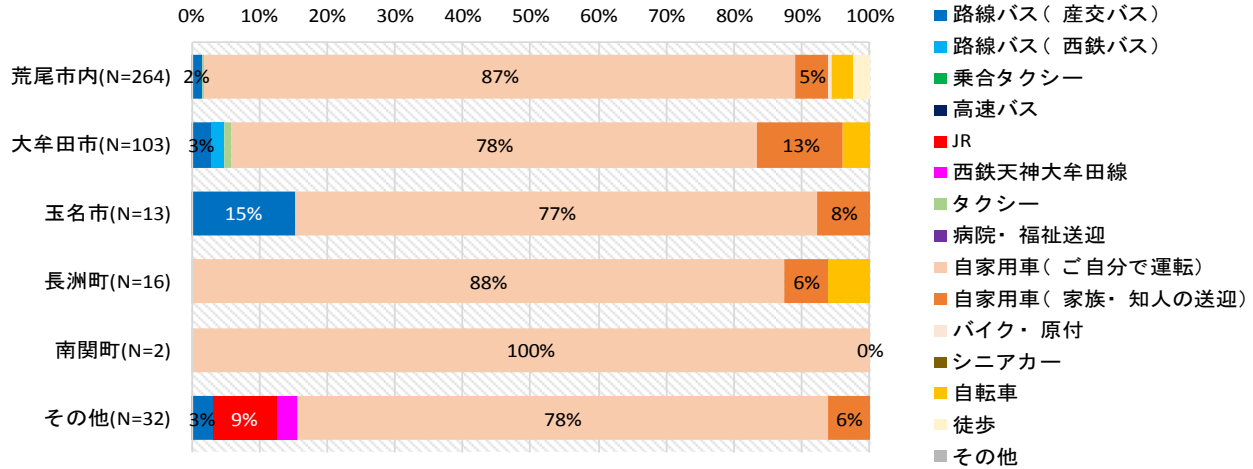
移動手段

- 移動手段は、外出目的に関わらず、9割程度が自家用車やバイク・原付の利用であり、日常的に公共交通を使う方はごく少数となっている。一方で、玉名市方面への移動においては、路線バスを利用する方が1割程度存在している。

■ 移動手段(外出目的別)



■ 移動手段(目的地別)



3. 勤労世代（19歳以上65歳未満）の移動実態（まとめ）

調査項目	調査結果より把握されたこと	課題
市民 アンケート調査 (19歳以上65歳未満)	<ul style="list-style-type: none">● 通勤(通学)や買い物目的での外出が主となっている。● 買い物は市内で行う方が約8割である一方、通勤や娯楽・イベント参加では大牟田市を目的地とする方が3~4割に達する。● 外出目的や目的地にかかわらず、移動手段は自家用車が9割程度である。	<p>【若年層における路線バス利用の低迷】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 多くの方が自家用車で行動しており、公共交通利用の可能性は低い。◆ ファミリー向けなど、ターゲットや利用目的を絞って、利用促進を行う必要がある。

【参考】市民アンケート(19歳以上65歳未満)調査票①

I あなたご自身のことについて

質問1 お住まいはどちらですか？(地区名に○)

- ① 荒尾地区 ② 万田地区 ③ 万田中央地区 ④ 井手川地区
 ⑤ 中央地区 ⑥ 緑ヶ丘地区 ⑦ 平井地区 ⑧ 府本地区
 ⑨ 八幡地区 ⑩ 有明地区 ⑪ 清里地区 ⑫ 桜山地区

質問2 ご自身のことについてお尋ねします。

i) 性別 ① 男性 ② 女性

- ① 19～22 歳 ② 23～29 歳

ii) 年齢 ③ 30～39 歳 ④ 40～49 歳

- ⑤ 50～59 歳 ⑥ 60～64 歳

iii) 家族構成 ① 一人暮らし ② 夫婦二人
 ③ 親と子ども ④ 親と子どもと孫の3世代
 ⑤ その他 ()

iv) 自動車運転免許の有無 ① 持っている → 日常的に運転しますか？

- ① 運転する
 ② 運転しない

v) 運転免許証の自主返納状況

① すでに自主返納した
 ② 近いうちに自主返納することを考えている
 ③ 現時点で自主返納するつもりは無いが、将来的に検討する
 ④ 自主返納しない
 ⑤ 自動車の運転免許証を保有したことが無い

II あなたの外出行動について

質問3 ご自宅から最寄りのバス停の名称と、ご自宅からの所要時間についてお答えください。(該当するものそれぞれ1つに○)

i) 乗り場の名称	ii) 自宅からの所要時間
① () バス停	① 5分以内
	② 5～10分
② 乗合タクシーの運行区域内(平井・府本地区)	③ 10分以上
③ バス停がどこにあるか知らない	

質問4-1 どのくらいの頻度で(買い物や通院等に)外出しますか？

(該当するもの1つに○)

- ① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日
 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日 ⑥ ほとんど外出しない

質問4-2 【平井地区・府本地区にお住まいの方のみお答えください】

乗合タクシー導入前(平成25年10月以前)と比べて、外出行動は
 どう変わりましたか？

	乗合タクシー導入前	乗合タクシー導入後	
i) 市の中心部などに外出する時に利用する交通手段(該当するもの全てに○)	① 路線バス	① 乗合タクシー	
	② タクシー		② タクシー
	③ 自家用車		③ 自家用車
	④ 病院送迎バス		④ 病院送迎バス
	⑤ 自転車・徒歩		⑤ 自転車・徒歩
	⑥ その他()		⑥ その他()
ii) 外出頻度(1つに○)	① 増えた ② 変わらない ③ 減少した		

【参考】市民アンケート(19歳以上65歳未満)調査票②

質問5 日常的な外出の目的と、その目的地などについて教えてください。

	外出目的	目的地	外出する頻度
	【回答の流れ】この質問は、日常的な外出行動3つについて「外出目的」「目的地」「頻度」「外出・帰宅時刻」「移動手段」のそれぞれご回答ください（〇は1つずつ）		
最も多い外出目的 →	①通勤 ②買い物 ③通院 ④娯楽・イベント参加 ⑤郵便・金融機関 ⑥その他 ()	①荒尾市内 ②大牟田市 ③玉名市 ④長洲町 ⑤南関町 ⑥その他 () 施設の名称	① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日以下
二番目に多い外出目的 →	①通勤 ②買い物 ③通院 ④娯楽・イベント参加 ⑤郵便・金融機関 ⑥その他 ()	①荒尾市内 ②大牟田市 ③玉名市 ④長洲町 ⑤南関町 ⑥その他 () 施設の名称	① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日以下
三番目に多い外出目的 →	①通勤 ②買い物 ③通院 ④娯楽・イベント参加 ⑤郵便・金融機関 ⑥その他 ()	①荒尾市内 ②大牟田市 ③玉名市 ④長洲町 ⑤南関町 ⑥その他 () 施設の名称	① ほぼ毎日 ② 週に3、4日 ③ 週に1、2日 ④ 月に2、3日 ⑤ 月に1日以下

3

回答は、外出目的が多い方から3つ、矢印の方向にお願いします。

	外出・帰宅する時刻	主な移動手段
	【回答の流れ】この質問は、日常的な外出行動3つについて「外出目的」「目的地」「頻度」「外出・帰宅時刻」「移動手段」のそれぞれご回答ください（〇は1つずつ）	
最も多い外出目的【1つ目】	外出時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ外出 ↓ 帰宅時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ帰宅	①路線バス（産交バス） ⑨ 自家用車（ご自分で運転） ②路線バス（西鉄バス） ⑩ 自家用車（家族・知人の送迎） ③乗合タクシー ⑪ バイク・原付 ④高速バス ⑫ シニアカー ⑤JR ⑬ 自転車 ⑥西鉄天神大牟田線 ⑭ 徒歩 ⑦タクシー ⑮ その他 ⑧病院・福祉送迎
二番目に多い外出目的【2つ目】	外出時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ外出 ↓ 帰宅時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ帰宅	①路線バス（産交バス） ⑨ 自家用車（ご自分で運転） ②路線バス（西鉄バス） ⑩ 自家用車（家族・知人の送迎） ③乗合タクシー ⑪ バイク・原付 ④高速バス ⑫ シニアカー ⑤JR ⑬ 自転車 ⑥西鉄天神大牟田線 ⑭ 徒歩 ⑦タクシー ⑮ その他 ⑧病院・福祉送迎
三番目に多い外出目的【3つ目】	外出時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ外出 ↓ 帰宅時刻 午前 ・ 午後 () 時ごろ帰宅	①路線バス（産交バス） ⑨ 自家用車（ご自分で運転） ②路線バス（西鉄バス） ⑩ 自家用車（家族・知人の送迎） ③乗合タクシー ⑪ バイク・原付 ④高速バス ⑫ シニアカー ⑤JR ⑬ 自転車 ⑥西鉄天神大牟田線 ⑭ 徒歩 ⑦タクシー ⑮ その他 ⑧病院・福祉送迎

4

【参考】市民アンケート(19歳以上65歳未満)調査票③

Ⅲ 公共交通に対するご要望について

質問7 あなたは日常生活においてどの程度路線バスや乗合タクシーを利用しますか？（該当するもの1つに○）

- | | |
|---------|-------------------|
| ① ほぼ毎日 | ② 週3、4日 |
| ③ 週1、2日 | ④ 月に2、3日 |
| ⑤ 月に1日 | ⑥ ほとんど利用しない・利用しない |

路線バス・乗合タクシーを利用する方は質問8・9にお答えください

質問8 路線バスや乗合タクシーを利用する時、よく使うバス停をお答えください。（いくつでも）※自宅から最寄りのバス停以外でお答えください

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| ① あらおシティモール | ② 荒尾市民病院 |
| ③ 荒尾駅前 | ④ イオンタウン |
| ⑤ 荒尾市役所前 | ⑥ その他 ※以下に記入してください
() () |

質問9 路線バスや乗合タクシーについてご不満な点がありますか？（該当するもの3つに○）

使い方がわかりにくい	①行先や方面がわからない ②発着時刻がわからない ③乗り方がわからない
路線が移動に合っていない	④行きたい方向に路線がない ⑤バス停(乗り場)が遠い ⑥移動に時間がかかる
運行ダイヤが移動に合っていない	⑦平日しか運行されていない ⑧運行本数が少ない ⑨乗り継ぎが不便 ⑩乗りたい時間に運行されていない
その他の理由	⑪乗り降りしにくい ⑫運賃が高い ⑬時間通りにこない ⑭現金での支払いが不便 ⑮乗り場に屋根やベンチがない⑯乗り継ぎが面倒である ⑰その他【 】

⇒質問11に進んでください

路線バス・乗合タクシーを利用しない方は質問10にお答えください。

質問10 路線バス・乗合タクシーを利用しない理由を教えてください。（該当するもの3つに○）

使わない・不要	①自家用車を運転して移動できる ②宅配があり外出が不要 ③送迎してもらっている ④ほとんど外出しない
使い方が分からない	⑤行先や方面がわからない ⑥発着時刻がわからない ⑦乗り方がわからない
路線が移動に合っていない	⑧行きたい方向に路線がない ⑨バス停(乗り場)が遠い ⑩移動に時間がかかる
運行ダイヤが移動に合っていない	⑪平日しか運行されていない ⑫運行本数が少ない ⑬乗り継ぎが不便 ⑭乗りたい時間に運行されていない
その他の理由	⑮乗り降りしにくい ⑯運賃が高い ⑰時間通りにこない ⑱現金での支払いが不便 ⑲乗り場に屋根やベンチがない⑳乗り継ぎが面倒である ㉑その他【 】

⇒質問11に進んでください

IV 今後の公共交通の運営に対するご意向について

質問11 荒尾市では、路線バスや乗合タクシーの運行に対し、毎年約5千万円の補助金を支出しています（市民一人あたり約900円）。このことを踏まえ、あなたは、路線バスなどの公共交通の維持のために行政が補助を行うことについてどうお考えになりますか。（該当するもの1つに○）

- ① 自動車等を利用できない高齢者や学生等のために、ある程度の補助は必要である（今の補助金額の程度を維持）。
- ② 市の補助金額が増加しても、新たな路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである（市民全体で負担）。
- ③ 運賃を値上げしてでも、新たに路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである（利用者で負担）。
- ④ 路線バスなどの運行は交通事業者が行うべきで、路線バスが減便・廃止されても、これ以上の補助金額の増加は避けるべきである。
- ⑤ その他（ ）

質問12 今後、荒尾市の公共交通（乗合タクシー・路線バス）を見直す場合に何を最も重視すべきだと思いますか。（該当するもの1つに○）

- ① 1日のバスの運行本数 ② バス停の数
- ③ バスのバリアフリー化 ④ バス停の環境整備（屋根などの設置）
- ⑤ バスやJRなどとの接続（乗り継ぎ）

質問13 その他ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

4. 高校生の移動実態（1）

市内居住者の通学先と市内の高校に通学する学生の居住地

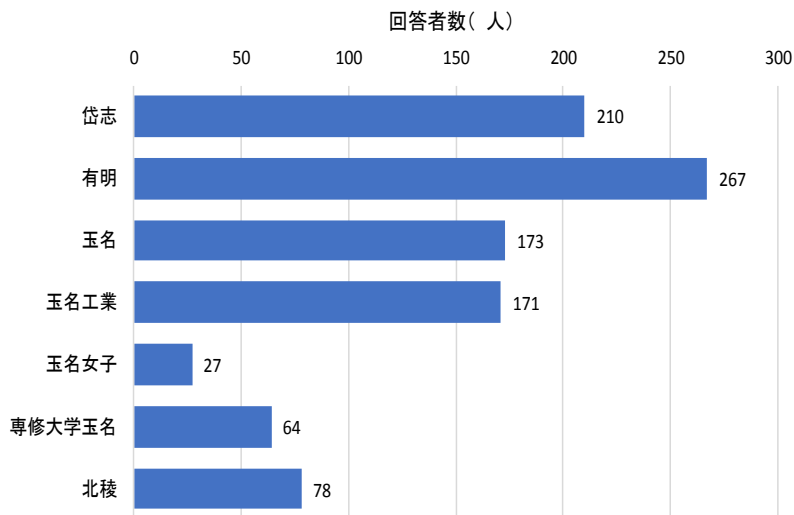
【市内居住者の通学先】

- 市内に居住する高校生の通学先は、岱志高校（県立・普通科など）、有明高校（私立・看護学科、普通科、福祉科など）が多くなっているが、玉名高校・玉名工業高校をはじめ、玉名市内の高校にも500人程度が通学しており、半数以上が市外の高校に通学している。

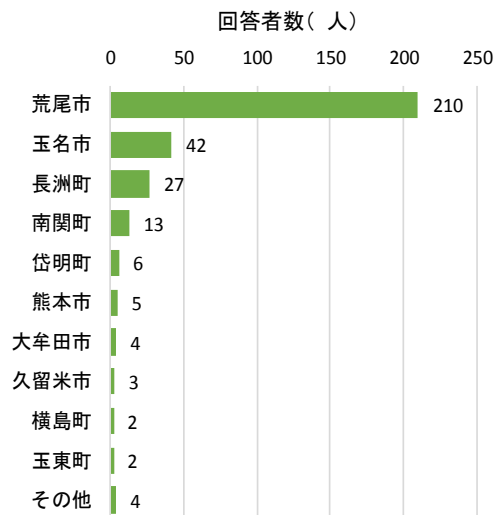
【市内の高校に通学する学生の居住地】

- 岱志高校・有明高校の学生は市内からの通学者が最も多く、有明高校では大牟田市からの通学者も150人程度存在する。
- 岱志高校・有明高校にはそれぞれ玉名市から50人弱、長洲町から30人弱通学している。

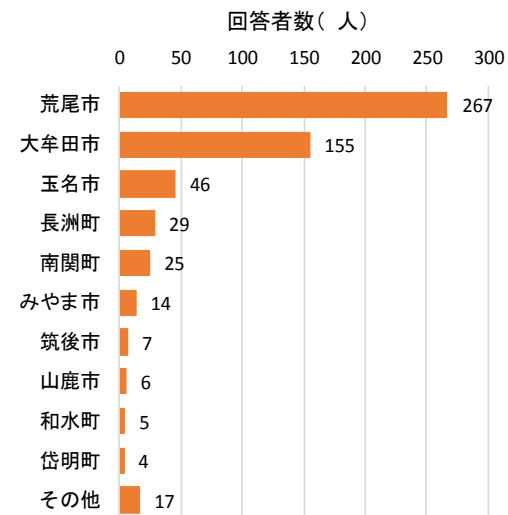
■ 市内居住高校生通学先（本市・玉名市）



■ 通学者居住地（岱志高校）



■ 通学者居住地（有明高校）



4. 高校生の移動実態（2）

市内居住者の通学時の移動手段

【市内高校への移動】

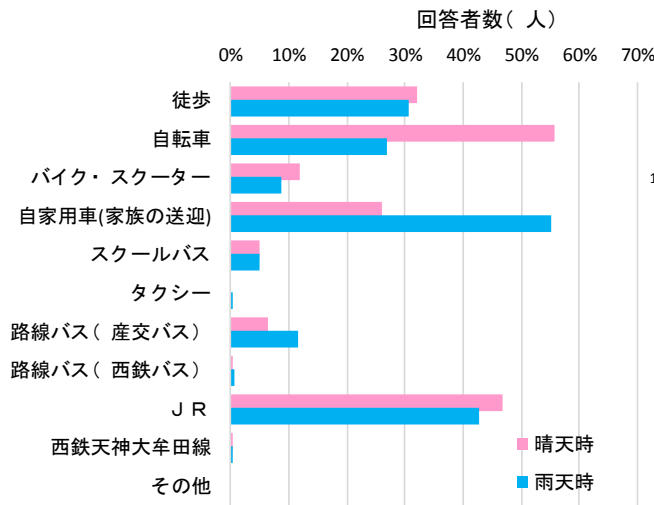
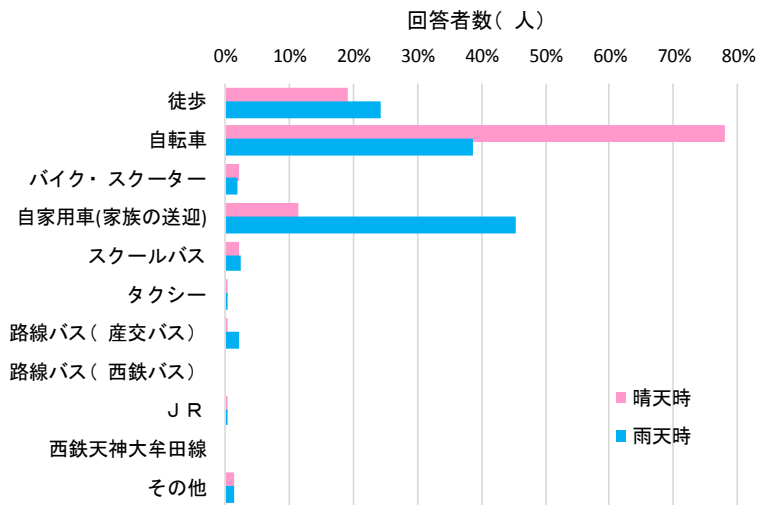
- 岱志高校・有明高校への通学時の移動手段は8割弱が「自転車」となっているが、雨天時は「自転車」の利用が減少し、「自家用車(家族の送迎)」に転換する傾向がある。

【市外高校への移動】

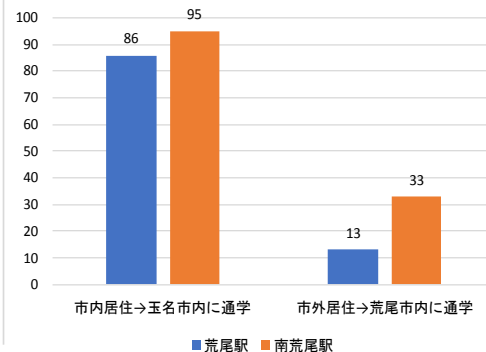
- 玉名市内の高校への移動手段は「自転車」と「JR」が約半数であり、自宅から鉄道駅まで自転車で移動する学生が多いことが分かる。(荒尾駅と南荒尾駅では、南荒尾駅の利用がやや多い状況である。)
- 雨天時には「自転車」利用が減少し「自家用車(家族の送迎)」に転じるものの、「JR」の利用はあまり減少していないため、鉄道駅までの送迎が多くなっていると想定される。
- 市外への通学時も「路線バス(産交バス)」の利用は1割程度であり、「JR」の利用の4分の1程度となっている。

■ 移動手段(市内→市内高校)

■ 移動手段(市内→玉名市内高校)



【参考】駅別利用状況

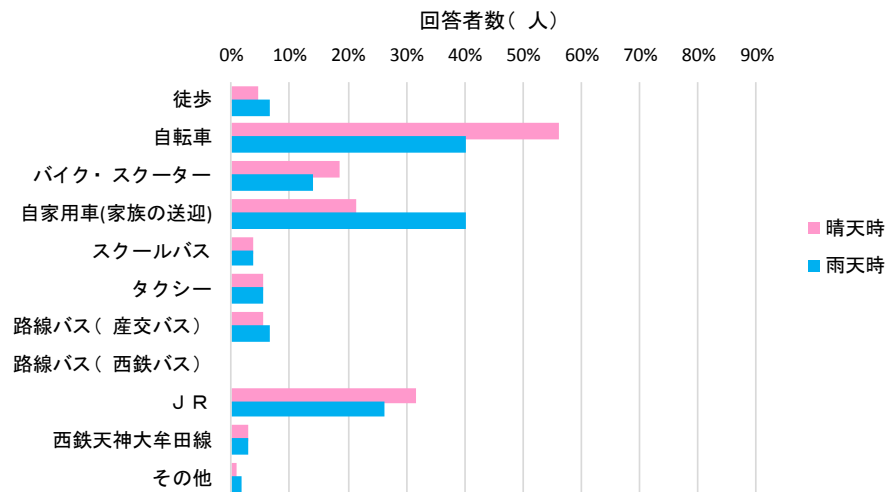


4. 高校生の移動実態（3）

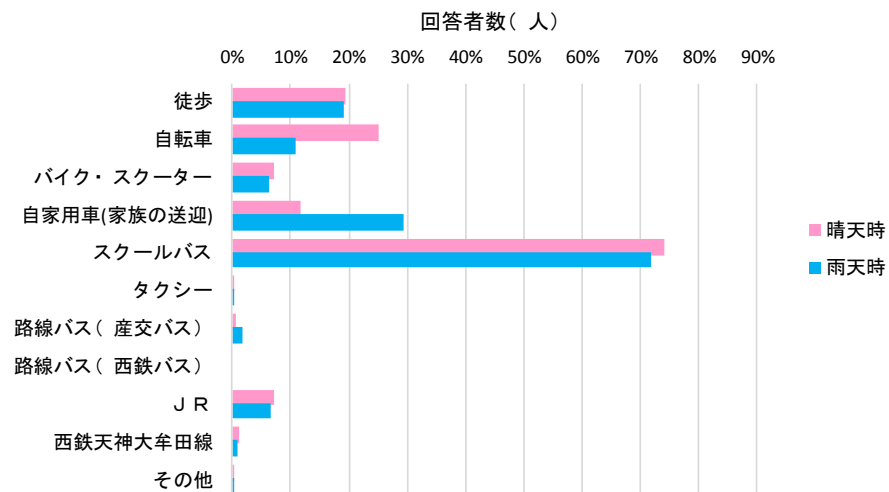
市外から岱志高校・有明高校への通学時の移動手段

- 岱志高校への通学者は「自転車」の利用が約半数、「JR」の利用が約3割であり、南荒尾駅からの自転車利用が想定される。
- 雨天時には「自転車」利用が減少し「自家用車(家族の送迎)」に転じるものの、「JR」の利用はあまり減少していないため、鉄道駅までの送迎が多くなっていると想定される。一方で、「路線バス(産交バス)」の利用はあまり増えておらず、天候に関わらず5%程度にとどまっている。
- 有明高校はスクールバス(大牟田・玉名・南関方面に15路線)を運行しており、当高校への通学者は7割以上が「スクールバス」の利用となっている。

■ 移動手段(市外→岱志高校)



■ 移動手段(市外→有明高校)



公共交通の利用者増加を図るためには、鉄道駅から学校までのアクセスを改善し、「雨天時」を中心に、「自転車」から「路線バス」への転換を図ることが有効と考えられる。

4. 高校生の移動実態（4）

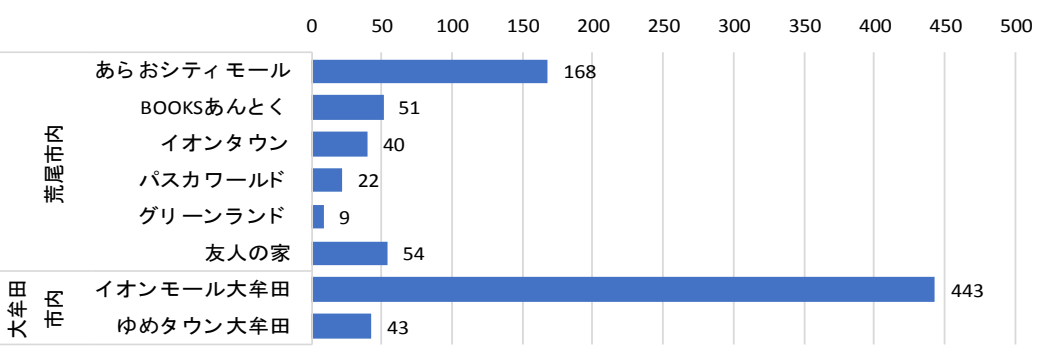
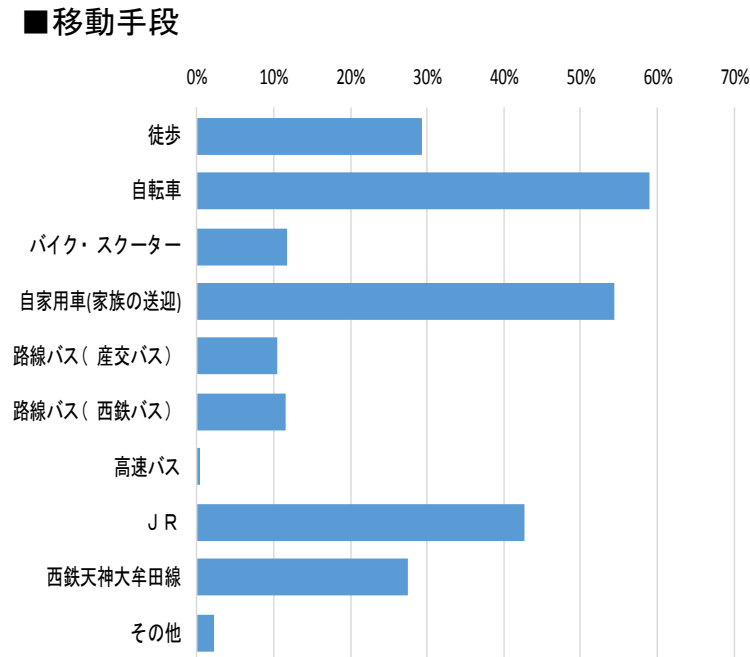
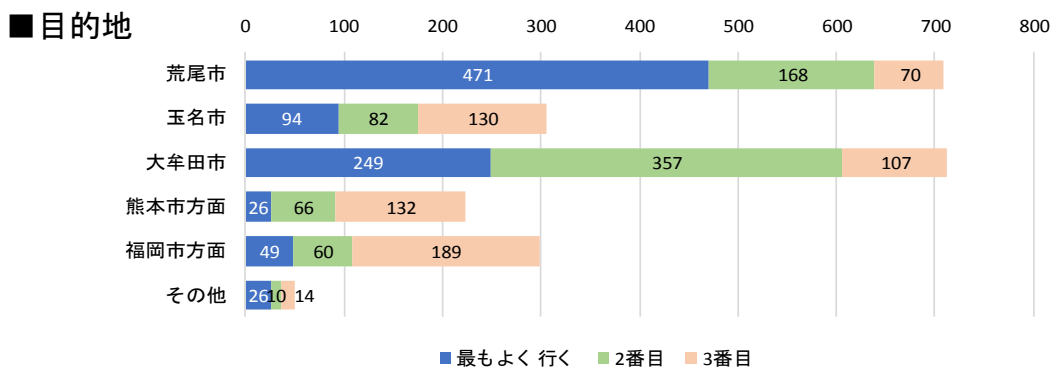
市内居住者の休日の外出目的地・移動手段

【市内居住者の休日の外出目的地】

- 市内に居住する高校生が休日に最もよく行くのは「荒尾市内」となっている。
- 2番目によく行く場所としては「大牟田市内」が多く、「玉名市」は比較的少数となっている。（大牟田市においては「イオンモール」を目的地とする人が突出しており、大きなニーズがあると見込まれる。）

【市内居住者の休日の移動手段】

- 通学時同様「自転車」の利用が多いが、「JR」や「西鉄天神大牟田線」など、広域的な移動においては鉄道も利用されている。
- 市内高校への通学時と比べて「路線バス」の利用が多く、産交バス、西鉄バスともに1割程度が利用している。



4. 高校生の移動実態（まとめ）

調査項目	調査結果より把握されたこと	課題
高校生 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none">● 市内から玉名市内の高校へは500人程度が通学しており、JRが主要な移動手段となっている一方、バス利用は1割程度にとどまっている。● 市内高校へは玉名市・長洲町からも1～2割の高校生が通学している。● 市内での通学は8割程度が自転車利用であり、市外への通学も約半数が自転車を利用している。市外からの通学も、スクールバスの利用を除くと自転車の利用が多くなっている。● 雨天時は家族の送迎に転換する傾向があり、市内での通学におけるバス利用は3%にとどまっている。一方、雨天時の市外への通学においては、バス利用が1割を超えている。● 休日の外出目的地としては市内及び大牟田市が多く、市内では「あらおシティモール」が多くなっているが、全体的に大牟田市の「イオンモール」を目的地とする方が突出している。	<p>【若年層における路線バス利用の低迷】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 雨天時を中心に、市内・市外の通学を含め、通学する際の学校と鉄道駅間の移動手段として公共交通手段の確保が必要である。◆ 移動ニーズに合わせた路線の整備と利用促進を行うことで、利用者を増やすことができる可能性がある。

【参考】高校生アンケート調査票①

公共交通に関するアンケート調査

荒尾市では、移動の実態に合った利便性の高い公共交通体系を構築するため、荒尾市内及び玉名市内の高校生を対象にアンケート調査を行っています。通学手段や休日の移動手段について、ご回答ください。

問1 あなたの居住地および通学先・学年・部活動の所属有無などを教えてください

居住地	()市・町	自宅の郵便番号	<input type="text"/>			
通学先	()高等学校	学年	()年生	性別	①男性 ・ ②女性	
部活動への所属	①している ・ ②していない		学習塾への通塾	①している ・ ②していない		

問2 あなたの普段の通学手段についてお答えください ※雨天時や、行き帰りで通学手段が変化する場合、それぞれご回答ください

→利用する交通手段、乗り継ぎ駅・バス停、 所要時間をお答えください	利用する交通手段<利用するものに✓を記入>											乗り継ぎ駅・バス停 使用する駅名、バス停名をすべて記入 してください。	所要時間 家から学校までの登下校 にかかる時間を記入して ください
	① 徒歩	② 自転車	③ 原付・スクーター	④ 自家用車(送迎)	⑤ スクールバス	⑥ タクシー	⑦ 路線バス(産交)	⑧ 路線バス(西鉄)	⑨ JR	⑩ 西鉄天神大牟田線	⑪ その他()		
例)家から徒歩→バス→JR→自転車を使い通学	✓	✓				✓		✓				○○駅、△△駅、△△駅前、□高校前	約(1)時間(30)分
A)行き													約()時間()分
A')雨の日などに移動手段が変わる場合 ※A)行きと一緒に記入不要													約()時間()分
B)帰り ※A)行きと一緒に記入不要													約()時間()分
B')雨の日などに移動手段が変わる場合 ※B)帰りに一緒に記入不要													約()時間()分
定期券・回数券の利用有無	① 定期券を利用(往復) ② 片道定期券を利用 ③ 回数券を利用 ④ 定期券・回数券は利用しない												
自家用車で送迎される頻度	① 通学時は毎日 ② 週に3~4日 ③ 週に1~2日 ④ 月に1~2日 ⑤ 雨の日のみ ⑥ 送迎してもらっていない												

【参考】高校生アンケート調査票②

問3 普段、登校時に家を出発する時刻、下校時に学校を出発する時刻を教えてください

家を出発する時刻（登校時） () 時 () 分ごろ 学校を出発する時刻（下校時） () 時 () 分ごろ

問4 休日などによく出かける場所を教えてください【最もよく行くところから順に1, 2, 3を記入し、下段にそれぞれの目的地を記入】

行き先 () 荒尾市内 () 玉名市内 () 大牟田市内 () 熊本市方面 () 福岡市方面 () その他【 () 】

→ 目的地	行き先1	行き先2	行き先3
交通手段	① 徒歩 ② 自転車 ③ 原付・スクーター ④ 自家用車(家族の送迎) ⑤ 路線バス(産交バス)		
(全てに○)	⑥ 路線バス(西鉄バス) ⑦ 高速バス ⑧ JR ⑨ 西鉄天神大牟田線 ⑩ その他(())		

問5 通学時や休日の移動手段として、現在の公共交通機関に満足していますか【該当するもの1つに○】

①とても満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらでもない ④どちらかといえば不満 ⑤とても不満

問6 路線バスについて不満な点があれば教えてください【該当するもの最大3つに○】

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ①バスの乗り方(使い方)がわからない | ⑧運賃が高い |
| ②行きたい方向にバス路線がない | ⑨時間どおりにこない・時間がかかる |
| ③バス停(乗り場)が遠い | ⑩現金での支払いが不便 |
| ④運行本数が少ない | ⑪定期券(ICカード)の購入場所が限られている |
| ⑤最終便が早い | ⑫不満な点はない |
| ⑥乗りたい時間に運行されていない | ⑬その他【 () 】 |
| ⑦JR・西鉄天神大牟田線等との乗り継ぎが不便 | |

問7 その他、路線バスについてのご意見があればご記入ください

ご協力ありがとうございました。なお、本アンケートにてご提供いただいた情報は、適正に保存・管理し、目的以外に使用することはありません。

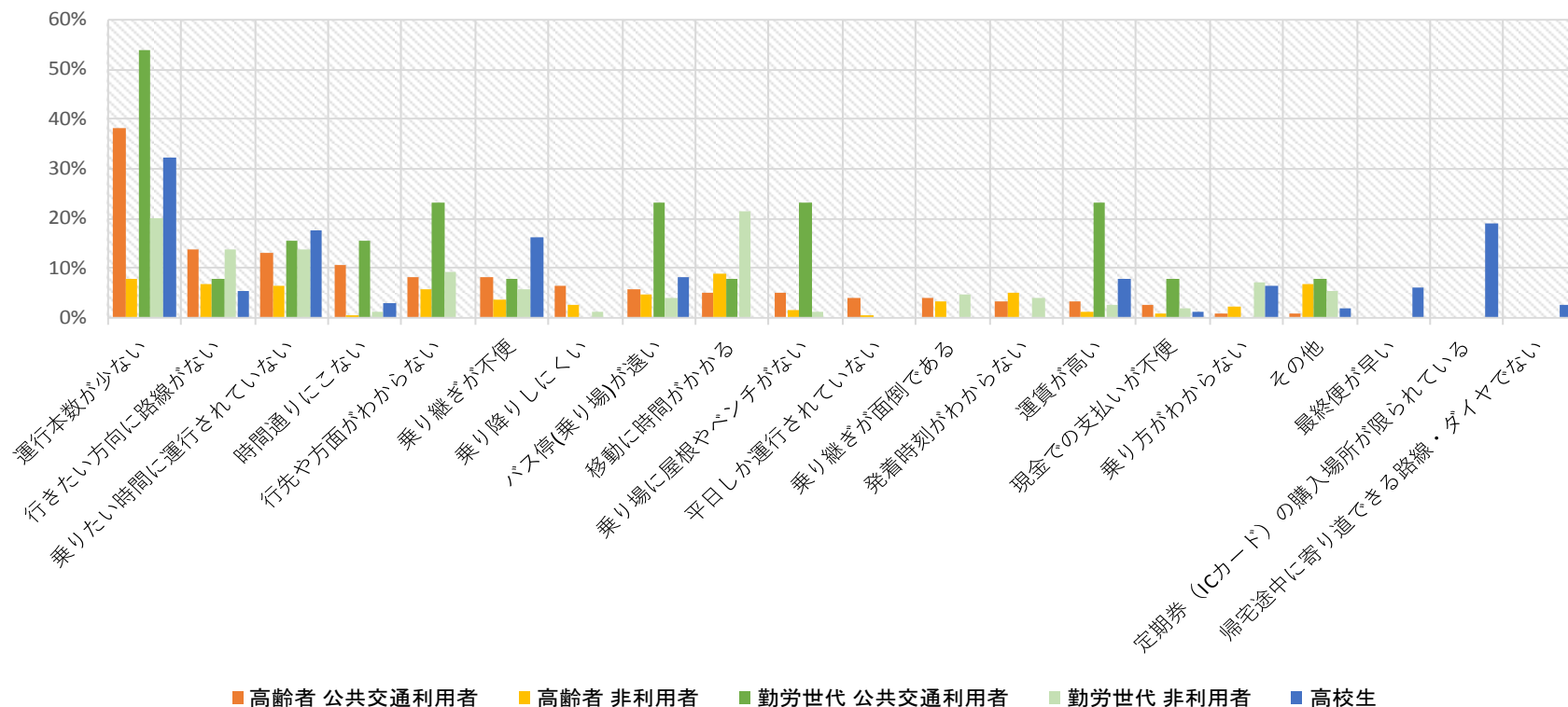
調査実施機関：荒尾市地域公共交通活性化協議会（事務局：荒尾市政策企画課内）

5. 市内居住者の公共交通に対するニーズ

公共交通に対する不満点

- 高齢者・勤労世代・高校生ともに、公共交通に対する不満点は「運行本数が少ない」ことが最も多い。
- 高齢者の公共交通利用者においては、「行きたい方向に路線がない」、「乗りたい時間に運行されていない」という回答が上位になっており、移動ニーズと路線網の不一致が懸念される。
- 勤労世代の公共交通利用者は、回答者数が少数ながら、「行き先や方面が分からない」との回答も見られる。
- 高校生においては、「乗りたい時間に運行されていない」「乗り継ぎが不便」「定期券の購入場所が限られている」とする回答が回答者の約2割に達している。

■ 公共交通の不満点

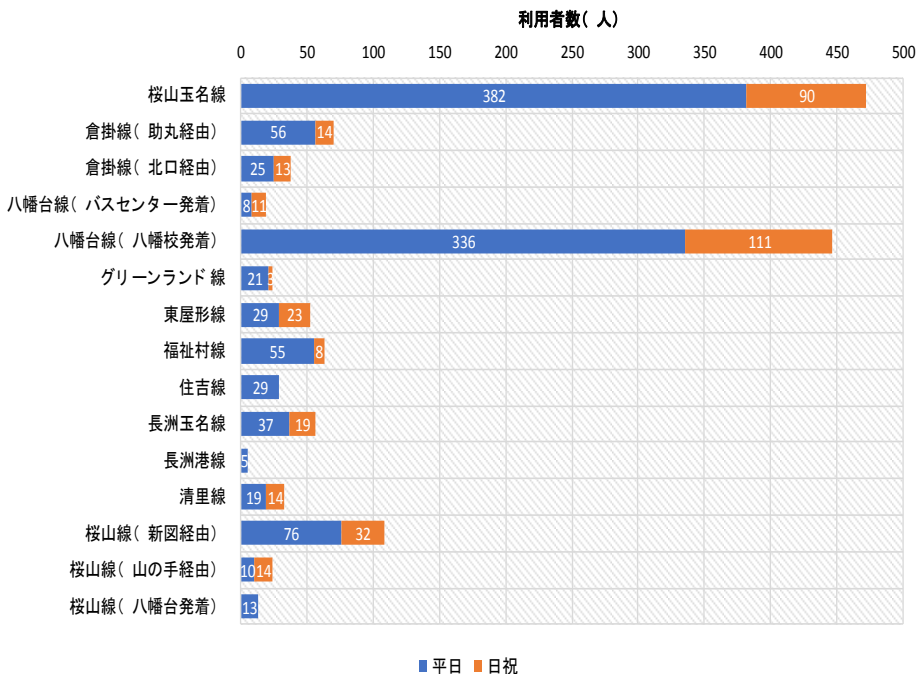


6. 路線バス利用実態調査結果（1）

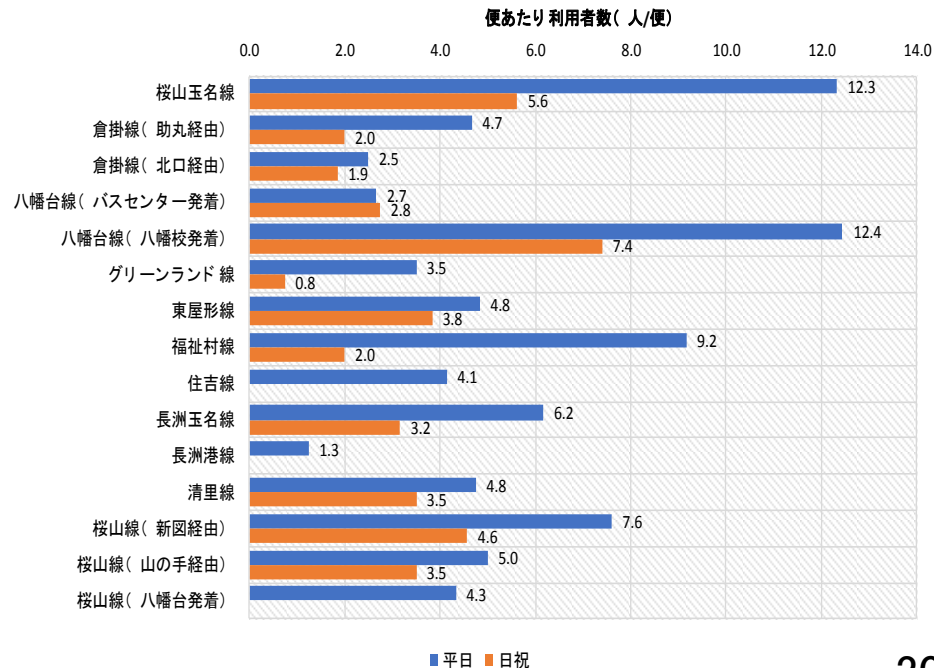
路線別利用者数

- 桜山玉名線、八幡台線は平日に300人/日以上の利用があり、便あたりの利用者数も12人/便前後と、荒尾市内の幹線的な路線となっている。
- 倉掛線（助丸経由）、福祉村線、桜山線（新図経由）は平日に50人/日以上の利用があり、上記2路線以外では比較的利用されている路線である。
- 倉掛線（北口経由）、八幡台線（バスセンター発着）、グリーンランド線、長洲港線は2～4人/便の低利用路線となっている。

■ 平日・休日利用者数（路線別）



■ 便当たり利用者数（路線別）

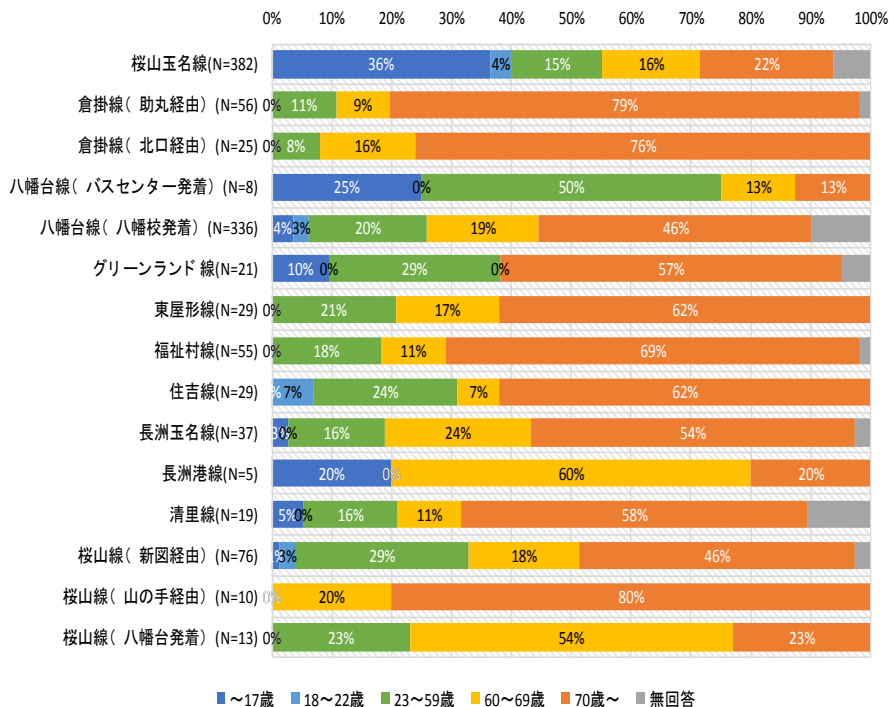


6. 路線バス利用実態調査結果（2）

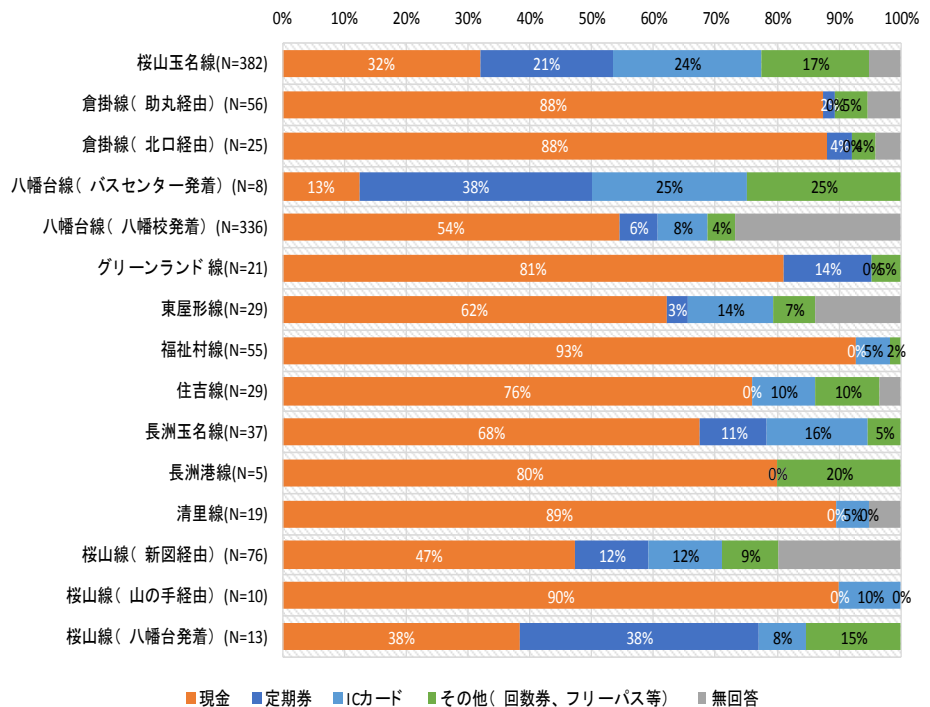
利用者の年齢・運賃支払い方法

- 桜山玉名線は高校生の利用が約1/3を占め、定期券やICカードの利用が約半数に達している。一方、他の路線では、運賃が片道100円になる福祉特別乗車証の利用が可能となる70歳以上の利用が多くなっており、特に倉掛線では、利用者のうち70歳以上の方が約8割を占めている。
- 70歳以上の方の利用が多く、さらに福祉特別乗車券の利用が多いため、現金支払いが多くなっており、ICカードなどの利用は定着していない(利用者属性などのデータが把握できない)。

■ 年齢構成(路線別)



■ 運賃支払い方法(路線別)



6. 路線バス利用実態調査結果（3）

路線別利用頻度・時間帯別利用動向

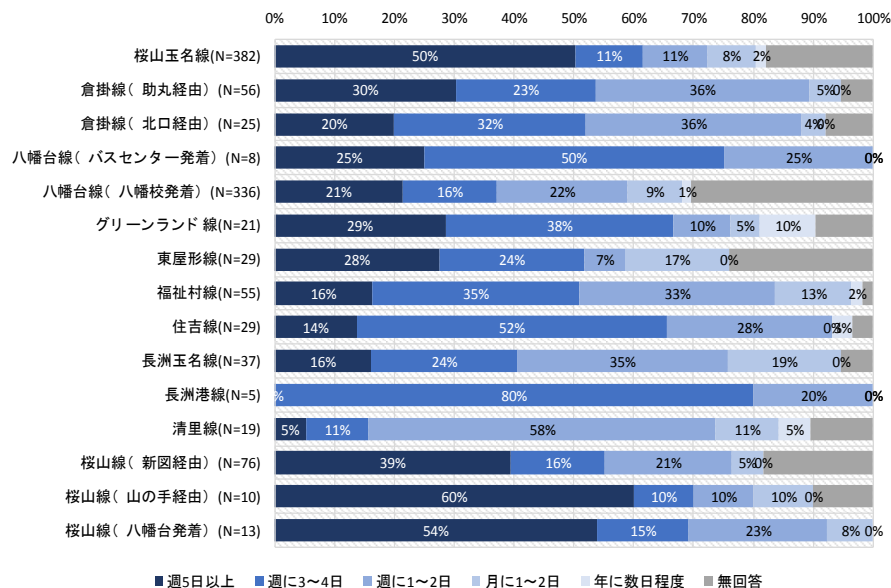
【路線別利用頻度】

- 桜山玉名線や桜山線では、ほぼ毎日利用する方がおよそ半数を占めており、他路線でも、週に3～4日以上で利用する方が半数を占めていることから、高校生などの通勤通学での利用だけでなく、運賃が100円と低料金であることもあり、高齢者の普段の移動手段としても利用されていることが分かる。

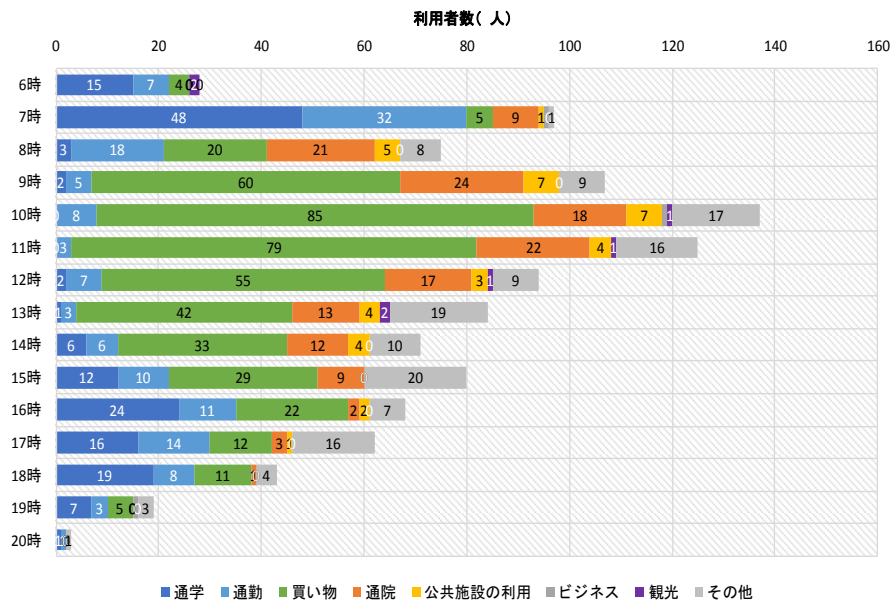
【時間帯別利用動向】

- 平日は通学目的での利用が6・7時台および15時以降に多くっており、買い物や通院目的での利用は10時台をピークに午前中の利用が多くなっている。

■ 利用頻度（路線別）



■ 利用動向（時間帯別）



利用動向を踏まえ、利用が多い時間帯には便数を確保し、利用が減る時間帯の便数を減らすなど、メリハリのあるダイヤにすることで、効率的な運行ができると考えられる。

6. 路線バス利用実態調査結果（まとめ）

調査項目	調査結果より把握されたこと	課題
路線バス 利用実態調査	<ul style="list-style-type: none">● 桜山玉名線や八幡台線など、利用が比較的好調な路線がある一方、グリーンランド線や長洲港線など、利用が低迷する路線も存在する。● 福祉特別乗車証の利用が多く、週に3～4日以上で日常的に利用する人が多い。● 利用目的によりピーク時間が異なっている。	<p>【利用の低迷する非効率な路線の存在】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 日中の便を中心に、高齢者などの外出利便性向上のため、便数やダイヤの改善が必要である一方で、持続可能な体系とするため、非効率な路線についての対策も併せて必要である。